

巻末資料 2. 駐輪場の料金設定に関する利用者調査 調査結果

1) 調査の実施概要

- ①調査目的 新たな料金体系（1 日利用料金の格差、短時間利用料金の導入）に対する市民意向と、自転車利用者（駐輪場利用者）が考える“駐輪場を選択（利用の有無、複数施設からの選択）する際の重要事項”の把握。
- ②調査対象 川崎市内の自転車利用者（駐輪場利用者）
- ③調査方法 調査対象の駐輪場の管理員などが、調査期間中に駐輪場を利用した自転車のかごに調査票と封筒を入れ、配布した調査対象に対して、郵送で調査票を回収。
- ④配布枚数 2,000 通
- ⑤回収結果
 - ・回収サンプル数：548 通（回収率 27.4%）
 - ・有効サンプル数：544 通（有効サンプル回収率 27.2%）

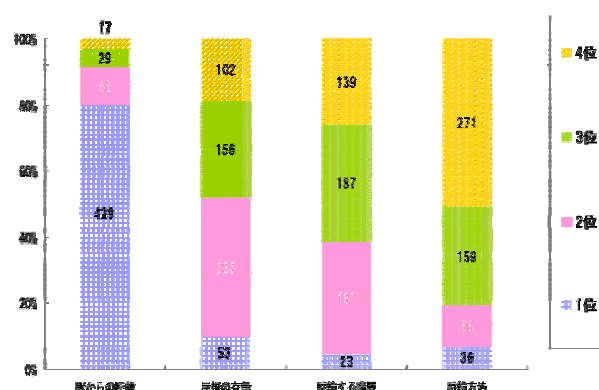
2) 駐輪場の料金設定に関する調査結果

①駐輪場を選択する際の重要項目

- ・市営駐輪場の利用者は、次の順番で重要と考え、駐輪場を選択しています。

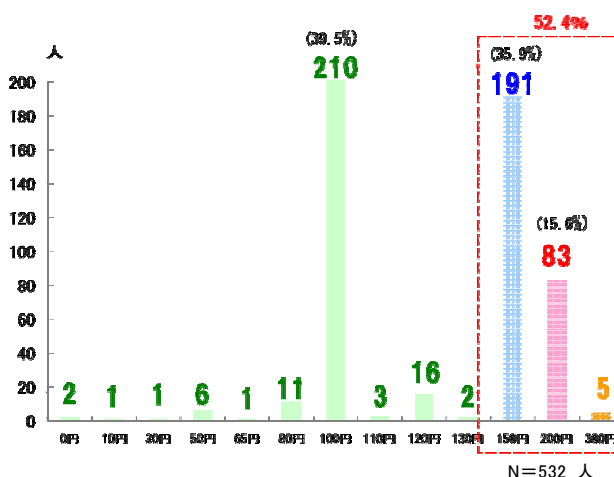
- [1] 駅からの距離
- [2] 屋根の有無
- [3] 駐輪する階層
- [4] 駐輪方法（自走式、機械式）

駅からの距離 N=537 人、屋根の有無 N=536 人
駐輪する階層 N=530 人、駐輪方法 N=532 人



②最も条件がよい駐輪場利用時の最大料金

- ・市営駐車場の利用者が、最も条件の良い駐輪場*を利用する場合に支払っても良いと考える最大の金額は、以下のとおりです。
- ◇最大金額は300 円（5 名）
- ◇最も多くの人を選択したのは100 円（210 名（39.5%））
- 次いで150 円（191 名（35.9%））、200 円（83 名（15.6%））が多い。
- ◇過半数の人が支払う金額は、150 円以上（述べ279 名（52.4%））



* 最も条件の良い駐輪場とは、①駅改札から近い②屋根がある③立体駐輪場の場合は1 階④機械式やゲート式など防犯上優れており、盗難の心配がない。などの条件を満たす駐輪場

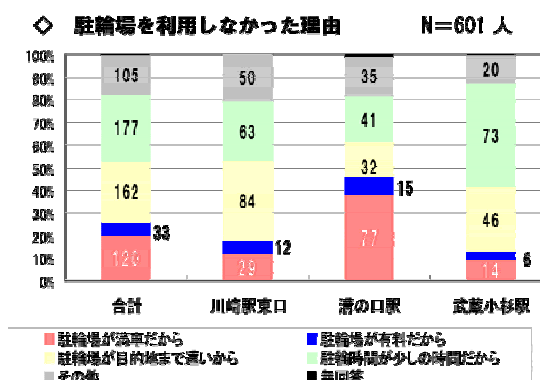
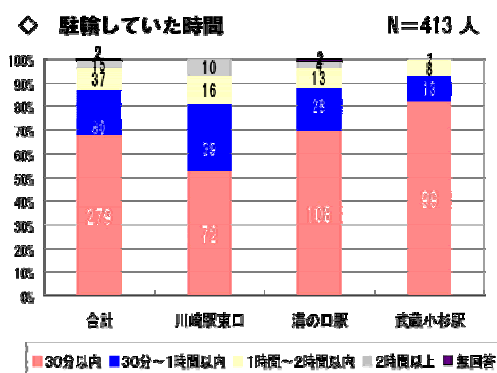
巻末資料3. 短時間利用駐輪場の導入に関する自転車利用者調査 調査結果

1) 調査の実施概要

- ①調査目的 新たな料金体系（短時間利用料金の導入）に対する市民意向、及び現在、駐輪場を利用していない人が、短時間利用料金を導入した場合の利用意向を把握。
- ②調査対象 買い物目的の自転車利用者（駐輪場未利用者）
- ③調査方法 調査対象エリアを設定し、路上などに駐輪している方へ聞き取り調査を実施する。調査を実施する駅は、短時間利用駐輪場の導入が想定される「川崎駅」「溝の口駅」「武蔵小杉駅」とする。
- ④回答人数 413 人
- ⑤回答結果 サンプル数：413 人（川崎駅 137 人、溝の口駅 55 人、武蔵小杉駅 121 人）

2) 放置自転車の実態に関する調査結果

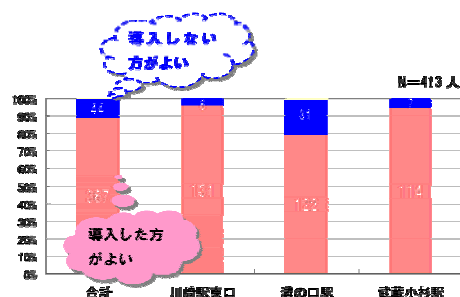
- ・ 路上に自転車を停めている自転車利用者の方の駐輪時間は、30 分以内の方が約 70%、1 時間以内の方が約 20%となっています。
- ・ 駐輪場を利用しない理由は、川崎駅東口・武蔵小杉駅では「駐輪場が目的地まで遠い」「駐輪時間が少しである」が多く、溝の口駅では「駐輪場が満車」が多い結果となっています。



3) 短時間利用駐輪場の導入に関する調査結果

①導入に対する意向

- ・ 路上に自転車を停めている自転車利用者の方は、約 90%の方が短時間利用駐輪場を導入した方がよいと考えています。



②利用に対する意向

- ・ 路上に自転車を停めている自転車利用者の方は、約 90%の方が短時間利用駐輪場を利用したい（「場合によっては」を含める）と考えています。

